

## 式 辞

中庭の梅の花がきれいに咲いています。木々の芽や花のつぼみがふくらみ、春が一步ずつ確かに近づいてきています。全てがみなさんの門出をお祝いしているようです。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先ほど、みなさんひとりずつに、本校での教育を修了し卒業の証となる卒業証書をお渡ししました。

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年とは違う学校生活になりました。マスクや手洗い、三密を避けることが、当たり前の日常になりましたが、みなさんには多くのがまんをお願いすることになり、残念な気持ちで一杯です。しかし、卒業証書を堂々と受け取る姿を見て、みなさんは困難に負けずに、自らの手で未来を切り拓いていく力が育っているのだと、感じました。ご来賓として参列されるはずであった地域の方々にも、みなさんの晴れの姿を見ていただきたかったです。在校生のみなさんは、そのすばらしい姿をしっかりと目に焼き付けたことと思います。

さて、卒業生のみなさん。みなさんと過ごしたのは二年間でしたが、日頃から元気で前向きな姿を見せてくれていました。

毎朝笑顔であいさつをしてくれる人が多かったです。毎朝昇降口をきれいにそうじしてくれました。感染対策をしながら工夫した児童会活動を計画して実行してくれました。密にできない運動会の中で工夫をこらした表現、縁の下の力持ちとしてがんばった係活動に心打たれました。仲間と体験活動を楽しんだ修学旅行。思い出すのは、明るい笑顔と前向きな行動力でした。みなさんは本校の最高学年としてすばらしい姿を見せてくれました。本当にありがとう。

みなさんの旅立ちにあたり、臆(はなむけ)に一言お話をさせてください。

多様性を受け入れる心を持ち、失敗を恐れず逃げずあきらめずひらめきを追い求める人生を歩む人になってほしいと願っています。

世の中にあなたと同じ人はいません。当然、見た目も違います。どんなに仲が良くても感じ方考え方も違います。違っていることがあたりまえです。そして、自分や周囲の人を大切に思い生きているのであれば、あなたの生き方は尊重されます。もし、あなたがだれかを「違う」ことを理由に否定すれば、いずれあなた自身も否定されることとなります。未来は何が起こるか予測不可能です。ヒーロー一人では、何も解決しません。様々な違いをもった人々が力を合わせてこそ、問題は解決できるのです。多様性、人はみなちがってよいということを受け入れる心をもってください。

そして、失敗を恐れなくてください。電話や蓄音機などを発明したトーマスエジソンの言うとおおり、失敗と言われることは、うまくいかないやり

方を発見したという勉強であり、財産なのです。失敗しても挑戦し続けることが努力です。更にエジソンの言葉を言い換えて「人生の成功とは、1%のひらめきと99%の努力である」なのです。1%のひらめき、それは何事にも自らの意思で真剣に取り組み続けた人が手にできます。それは、面倒なことから逃げてやりたいことをするのではなく、自分がすべきこと全てを積極的にすることです。辛いことも面倒なことも楽しいこともやりがいがあることも全てまじめに取り組み続けた先にきらっと光るもの、あっこれだと感じること、それがひらめきです。どんな小さなことでも続ける努力を惜しまない人になってください。多様性と失敗してもあきらめない力は、これからの時代にも大切な力だと思います。

保護者のみなさま、お子様のご卒業、本当におめでとうございませう。今年、楽しみにされていた様々な活動が延期、形を変えて実施、中止などとなりました。当初は感染防止の対応に迷いも多くありましたが、少しずつ対応が明らかになり、感染防止をしながらどうしたら学校活動ができるかを考え、実施して参りました。本日も、在校生全員が集まることはできませんでしたが、みなさま方のご協力により、卒業生一人ひとりに卒業証書を渡すことができました。ありがとうございました。また、今日までの六年間、子ども達をあたたく見守り育てていただくと共に、本校の教育活動にご理解とご支援いただきましたことに重ねて感謝申し上げます。

さて、名残は尽きないわけですが、お別れの時となりました。卒業生のみなさん、六年間、みなさんを支えてくださった、ご家族、地域の方々、先生方はじめ、全ての方に感謝の気持ちを忘れずに、戸倉小学校の卒業生であることに誇りをもって、中学校生活を自分たちの手で輝くものにしてください。

みなさんの、これからの健康と活躍を願って、式辞といたします。

令和三年三月十八日

千曲市立戸倉小学校 校長 宮原明人